

3年生 進路だより

『世の中には幸福も不幸もない。
ただ、考え方でどうにでもなるのだ』シェークスピア

進路に向けて、本気の夏休みを！

保護者懇談会では、担任の先生、保護者の方、そして君たちの三者で学校生活での色々な課題について話がなされたと思います。その中には、当然進路の話も出てきたでしょう。懇談の内容をふまえて、自分の進路を考え、この短い夏休みを充実したものとしてほしいものです。そのために4つのポイントをあげておきます。

1. 進路に関する情報を正確に理解する。

1学期の間、進路だより、教室や廊下の掲示物、配布物（パンフレット）など、様々な形で進路選択に関する情報を提供してきました。これらが、きちんと理解できていますか？理解が不十分な人は、配布された資料をもう一度読み返してください。分からないことがあれば、担任の先生や高橋まで、遠慮なく質問してください。進路についての情報を正確に知ること。これが、進路に向けての第1歩です。

2. 将来を考えるものに触れよう。

進路とは志望校を決めるというだけの意味しているわけではありません。「**自分の将来を考える**」ことが進路学習のもっとも大事なことです。夏休みの間に、ぜひ自分の生き方について考えることのできるものに触れてください。読書はその一番のものだといえるでしょう。地域の行事やボランティア活動に参加するのも大事なことです。テレビ番組でも、単なる娯楽番組ではない、人生について考えさせてくれる番組が数多くあります。新聞にも進路について、色々な情報を提供してくれる記事が載っています。

高校見学や、体験授業に参加することも大切なことです。**私立・公立ともに学校説明会やオープンスクールを開催**しています。事前の申込が必要となっている学校がほとんどです。必ずHPや掲示物などをチェックして、積極的に参加してください。

大切な事は、意識をすることです。今までには見過ごしていた情報が、進路という観点から見ると自分にとって必要なものであるということも多いです。様々な情報を自分なりに分析をし、自分の未来を真剣に考える機会にしていきましょう。

3. 家族(保護者)と話し合おう。

自分で考えるだけでなく家族（保護者）の人と話し合ってください。保護者の方と君たちの進路希望が一致していないということが、毎年あります。だからこそ、保護者の方とゆっくり話し合ってほしいのです。保護者の方が君たちの将来についてどんな願いをもっているのかをじっくりと聞き、そして君たちが自分の進路をどう考えているのかを保護者に話してください。すこし照れくさいかもしれませんが、「**ちょっと聞いてほしい**」と話しかけてください。普段忙しい保護者の方も、お盆や仕事の夏休みには時間がとれると思います。家族でじっくり進路について話し合ってください。

4. そして勉強。

中学校を卒業するということは義務教育が終わるということです。小学校の6年、中学校の3年間は、社会人として生活していくための基本的な知識・技能を学び、考える力（思考力）を身につけていく場だったのです。単に受験のためというのではなく、人間として社会人として必要な知識や技能の総まとめするという観点からも、**中学3年間の総復習**を、この夏休みに必ずしていましょう！！

※以前にも書きましたが、私立高校の体験入学は、掲示してあるポスターやホームページ等を見て、申し込んで下さい。わからないこと、知りたいことがあれば担任の先生や高橋まで聞きに来て下さい。（気軽に来て下さい。一緒に考えましょう。）

また、夏休み中に学校説明会に行く人は、日時、場所を間違わないようにしてください。また申し込んだら必ず参加するようにして下さい。

※事故や事件に巻き込まれないように気をつけること。

※桜台中の生徒としての自覚を持って行動しましょう。

※身だしなみもきちんと整えて参加すること。（もちろん制服です！）